

# 平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	020100	TEL	2998-9030
事業コード	起債事務	財務部 財政課				
020104		グループ	財政担当グループ			

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	4節 財政運営	中柱	2 財源の確保	小柱	(2) 国・県の補助金等の活用
---------	----	---------------	----	---------	----	---------	----	-----------------

行政改革大綱における行動計画への位置づけ

コード		コード		コード	
-----	--	-----	--	-----	--

目的(何のために行うのか、具体的に)

- ①大規模な施設建設にかかる一時的な財政負担を平準化し、年度間調整を行っていくため。
- ②長期間使用できる施設に関する償還金を後年度の人々にも負担していただき、世代間の受益と負担の公平を保つため。

②事業の内容	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 18 年度	12	事業
	当初予算において、地方財政法及び地方自治法に照らし合わせ、財源に市債を見込んだ事業			平成 19 年度	15	事業

業務の具体的な内容及び実施方法

- ①国の定めた同意基準、地方債計画にもとづいて起債申請をする。
- ②県から協議した起債について同意を受ける。
- ③同意を受けた金額を国等の公的機関や民間金融機関から借り入れる。

H	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない
---	---------	------------------------------	------------------------------	--	----------	------------------------------	------------------------------	--

19	20年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了
----	------------	---	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

評価 平成19年度中に改善した点

許可制度から同意協議制に変わったため、当初の申請時の事業費の捉え方が予算ベースで算定でき、事業課に要求する資料が軽減された。

③経費	<<会計種別>>	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,388	2,223	4,049
	決算(見込み含む)		1,412	2,006	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	( 人 )
	正規職員人件費	0.70 人	6,440	0.59 人	5,542
	事業費合計		7,852	7,548	
	市民一人当たり(単位:円)		23.2	22.3	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18		H 19		H20見込み	将来目標
				目標値	実績	目標値	実績		
活動実績	起債額(一般会計分)	起債額の合計	億円		46		36	31	
成果分析	プライマリーバランスの状況(一般会計分)	(歳入-市債)-(歳出-公債費)-一般会計決算ベース	億円	目標値	黒字	黒字	黒字		
				実績	42.5				
			%	達成率					実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑤評価項目	見直しの必要性			評価理由及び対応策
コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	人件費が主なものであるため。
実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	市以外では実施できない。

業務を進めていくうえでの課題

中長期財政計画に基づき、プライマリーバランスの黒字化を維持し、世代間負担の公平性、後年度の財政負担を考慮し、計画的に起債事務を行っていく。

⑤次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	起債調書	事業課に要求する起債調書の様式を変更し、起債項目を分かりやすくする。

21年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了
------------	---	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方

昨年度策定した中長期財政計画に基づき、プライマリーバランスの黒字化を維持し、世代間負担の公平性、後年度の財政負担を考慮し、計画的に起債事務を行っていく。

評価日 記入者職氏名 財政担当参事 粕谷 不二夫

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
施策の体系	施策の方向			